

# アイ エステティック美容専門学校情報公開

(2015 年度自己点検・評価結果)

## 目 次

1. 理事長挨拶
2. 中村学園について
  - 2-1. 学園の誕生
  - 2-2. 学園の歩み
  - 2-3. 学園及び学園グループの所在地と連絡先
3. 学園の財務状況
  - 3-1. 資金収支計算書
  - 3-2. 貸借対照表
4. 学校長挨拶
5. 学校について
  - 5-1. 学校の歩み
  - 5-2. 学校の所在地と連絡先
6. 入学者数と出身地
7. 教育
  - 7-1. 退学率
  - 7-2. 主要検定合格率
  - 7-3. 卒業後の進路
  - 7-4. 教職員研修
  - 7-5. 教職員・講師
8. 学生支援
  - 8-1. SAM活動及びクラブ活動
  - 8-2. カウンセリング
9. 危機管理
10. 国際連携・地域貢献など
11. 自己評価

## 1. 理事長挨拶

今年度より美容分野の学校があらたに校名を変更し、「ジェイ ヘアメイク専門学校」となりました。

現在は以下5校の運営を行っております。

「国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校」「専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園」「アイ エステティック専門学校」「ハッピースイーツ製菓専門学校」「ジェイ ヘアメイク専門学校」であります。

戦後間もない昭和22年洋裁の技術指導を目的として設立された中村洋裁研究所が現在の5校の基盤となっております。

時代の流れと共に新しい分野の専門学校展開を図ってまいりましたが、その教育に対する精神は、一貫しており、技術を身につけ、常に自信をもって社会に貢献でき、相手の立場が理解できるホスピタリティ精神の醸成を図る事であります。

学園の大きな改革の始まりは1987年（昭和62年）に行った洋裁の技術指導から観光産業に従事する学生の育成への転換でありました。その後、動物分野、美容分野、製菓分野へと進展を図ってまいりました。それぞれの時代で学園を支える多くの教職員があつて現在の中村学園があると常に感謝いたしております。現在では、5校合わせて約1,700名の学生が夢を果たすために、日夜努力を重ねており、教職員はその夢の実現をサポートする日々を送っております。

これからも、さらに専門教育指導の充実を図り、学生にとって「明るく 楽しく 元気よく」をモットーに充実した学園生活を送る事が出来る専門学校を目指してまいります。

**中村学園 GRAND CREDO**

**おもてなしと感謝の心で、夢をカタチに**

2016年4月1日

学校法人 中村学園

理事長 **中 村 洋 子**

## 2. 中村学園について

### 2-1 学園の誕生

昭和 22 年名誉理事長中村あいが教育機関として「中村洋裁研究所」を開設いたしました。以来、本日まで専門教育に携わり教育に対する取組む姿勢は常に技術指導、技能習得を通して人格形成をはかり、時代が求める職業人の育成でありました。開校以来 66 年その理念は現在に受け継がれ 28,100 人以上の卒業生を送り出し、それぞれの分野の第一線で活躍し社会に貢献しています。

### 2-2 学園の歩み

1947 年 12 月 22 日	「中村洋裁研究所」開所。
1948 年	GHQ に学校の公認を申請。千葉県知事の公認となる。
1951 年	財団法人 中村学園として発足、中村ドレスメーカー女学院。
1966 年	学校法人 中村学園として認可、旧 1 号館校舎が竣工。
1976 年	専修学校認可により中村ドレスメーカー専門学院に校名変更。
1977 年	現在の 6 号館中村学園ビル 7 階建が完成。
1985 年	学校法人森谷学園と教育提携を行い旅行科の設置を計画。
1987 年	校名を国際トラベル・モード専門学校と改め、旅行科を新設。
1988 年	2 号館の竣工。㈱ナカムラの設立。学習塾、貸ビル部門を分離。
1993 年	国際女子ビジネス専門学校と国際トラベル・ホテル専門学校の 2 校に分離。新校舎 3 号館が竣工。
1996 年	国際女子ビジネス専門学校を CIB 国際ビジネス専門学校に変更。
1997 年	ちば愛犬動物学園を認可外機関として㈱ナカムラに設立。
1999 年	CIB を閉校。専門学校ちば愛犬動物学園を認可校として開校。
2000 年	株式会社ナカムラに「ちば留学センター」を開設。
2002 年	専門学校ちば愛犬動物学園の実習校舎として 5 号館を購入。
2003 年	専門学校ちば愛犬動物学園のおゆみ野教室の実習棟を竣工。
2004 年	専門学校ちば愛犬動物学園に約 1 万坪の長柄実習場を竣工。
2006 年	専門学校ちば愛犬動物学園に新 1 号館 千葉校舎を竣工。 国際トラベル・ホテル専門学校の付帯事業としてズーフォニック クスアカデミー千葉校を開設。 幼児の英語教育を開始。
2007 年	国際トラベル・ホテル専門学校に 8 号館新校舎が竣工。 3 号館を利用してアイ エステティック専門学校を開校。
2009 年	ズーフォニッククスアカデミー千葉校が認可外として独立。
2013 年	新総合校舎 9 階建 N タワーが完成。
2014 年	ハッピースイーツ製菓専門学校を開校。
2015 年	アイ エステティック専門学校を開設。

## 2-3. 学園及び学園グループの所在地と連絡先

### (1) 学園

学園本部（1号館）

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-13

TEL：043-242-0778 FAX：043-242-0541

総務部（1号館）

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-13

TEL：043-242-0467 FAX：043-242-2916

### (2) 学園グループ

株式会社ナカムラ

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-13-10

TEL：043-248-8011 FAX：043-241-4480

ちば留学センター

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 中村学園Nタワー2階

TEL：043-248-8011 FAX：043-241-4480

<http://www.chiba-ryugaku.jp/>

ズー・フォニックス・アカデミー（株式会社ナカムラ本社）

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-13-10

TEL：043-238-2081・0120-026-081

<http://chiba.zoo-phonics.jp>

e-mail [chiba@zoo-phonics.jp](mailto:chiba@zoo-phonics.jp)

### 3. 学園の財務状況

#### 3-1. 資金収支計算書 (2015年4月1日から2016年3月31日)

単位：千円

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,962,109	1,981,013	△18,904
手数料収入	25,895	20,337	5,558
補助金収入	16,419	16,419	0
資産運用収入	10,000	709	9,291
事業収入	0	7,415	△7,415
雑収入	136,410	26,850	109,560
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,244,337	1,037,236	207,101
その他の収入	192,073	626,299	△434,226
資金収入調整勘定	△953,375	△1,084,669	131,294
前年度繰越支払資金	1,306,078	1,306,078	—
収入の部合計	3,939,946	3,937,687	2,259
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	941,327	936,779	4,548
教育研究経費支出	520,190	382,444	137,746
管理経費支出	308,639	303,014	5,625
借入金等利息支出	5,668	5,668	0
借入金等返済支出	120,000	120,000	0
施設関係支出	0	71,154	△71,154
設備関係支出	44,000	24,240	19,760
資産運用支出	0	29,381	△29,381
その他の支出	428,934	661,933	△232,999
資金支出調整勘定	△16,681	△86,157	69,476
次年度繰越支払資金	1,587,869	1,489,231	98,638
支出の部合計	3,939,946	3,937,687	2,259

決算－予算＝差異

### 3-2. 貸借対照表(2016年3月31日)

単位：千円

科目	本年度末	前年度末	増減
<b>資産の部</b>			
固定資産	5,095,945	5,171,601	△75,656
有形固定資産	4,953,734	5,055,277	△101,543
その他の固定資産	142,211	116,324	25,887
流動資産	1,514,855	1,345,102	169,753
資産の部合計	6,610,800	6,516,703	94,097
<b>負債の部</b>			
固定負債	210,000	330,000	△120,000
長期借入金	210,000	330,000	△120,000
流動負債	1,532,259	1,545,386	△13,127
負債の部合計	1,742,259	1,875,386	△133,127
<b>基本金の部</b>			
第1号基本金	6,209,401	6,052,028	157,373
第3号基本金	100,000	100,000	0
基本金の部合計	6,309,401	6,152,028	157,373
<b>消費収支差額の部</b>			
翌年度繰越消費支出超過額	1,440,860	1,510,711	69,851
消費収支差額の部合計	△1,440,860	△1,510,711	69,851
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部 合計	6,610,800	6,516,703	94,097

(注)

1. 減価償却額の累計額の合計額 1,591,673 千円
2. 徴収不能引当金の合計額 4,338 千円
3. 担保に供している資産の内訳
  - 千葉県中央区新宿 2-11-5 学校用地
  - 同 上 建 物 (3号館)
  - 千葉県中央区新宿 2-14-17 学校用地
  - 千葉県中央区新宿 2-14-13 学校用地
  - 同 上 建 物 (1号館)
4. 退職金引当金
 

期末退職金の要支給額 201,000 千円は、千葉県私学教育振興財団よりの  
交付金と同額のため、退職給与引当金は計上していない。
5. 翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入れを行う金額 345,252 千円  
交付金と同額のため、退職給与引当金は計上していない。

## 4. 学校長挨拶

「ホスピタリティ豊かな、世界に通用する技術を持った人材育成」を教育理念とした本校は、一般社団法人日本エステティック業協会の認定校として、インナービューティという視点から教育プログラムを2007年に導入しました。技術教育の中心はエステティックですが、その後業界ニーズの多様化に合わせて、アロマ・メイク・ネイル・ブライダルと教育内容を拡大し、今日に至っております。

本校では、知識や技術と共に、卒業後も活かしていける「美しい人生を創る生活習慣」を身につけ、人として成長することを重視しております。

その生活習慣を支える考え方こそが、インナービューティなのです。

本当の美しさは、内面から生まれる

内面の美しさが、身体の美しさを生む

身体の美しさを、美の技術で完成させる

このステップが生涯にわたるライフタイムビューティにつながります。それを身につけられるのが、本校ならではの教育カリキュラムです。

毎年実施している学校生活アンケートにおいても、「入学して良かった」「授業内容に満足している」と回答している学生が4年連続で75%を超えております。これは本校の教育方針が学生に共感を得られているものと捉え、今後とも教職員一同で教育内容の維持向上に努める所存です。

どのような環境であっても社会が求めている専門学校教育は不変です。社会で通用する人材育成と、業界が必要とする確かな技術力育成を、教育の柱として、皆様から信頼される学校運営を行ってまいります。

2016年4月1日

アイ エステティック専門学校

校長 **前田 毅**

## 5. 学校について

### 5-1. 学校の歩み

- 2006年 国際トラベル・ホテル専門学校ホテル科にエステティックコースを設置してエステティシャン養成教育開始
- 2007年 エステティックコースを独立させインナービューティ科として、アイ エステティック専門学校設立。同時にアロマ&セラピストコース及びメイクアップアーティストコースを設けアロマセラピーとメイクの教育開始
- 2009年 ブライダルビューティコースを設けブライダル教育開始
- 2010年 夜間部を設置。  
ネイリストコースを設けネイル教育開始
- 2011年 美容師学科を設置して美容師教育開始  
これに伴い、アイ エステティック美容専門学校に校名変更
- 2014年 新校舎（Nタワー）完成に伴い学校移転。更に充実した実習施設環境で授業を開始  
美容師学科が職業実践専門課程として文部科学大臣認可
- 2015年 アイ エステティック美容専門学校のインナービューティ科が独立し、アイ エステティック専門学校として開校

### 5-2. 学校の所在地と連絡先

学校本部（Nタワー）

〒260-0021 千葉市中央区新宿 2-14-3

〈教務・就職〉 TEL：043-242-0071 FAX：043-242-0470

〈学務・広報〉 TEL：043-242-0073 FAX：043-242-0078

〈入学相談室〉 0120-461-901 フリーダイヤル

ホームページ <http://www.aie.ac.jp>

e-mail aie@nakamura.ac.jp



## 6. 入学者数と出身地

都道府県名	2013年度				2014年度				2015年度		
	IB科		HB科	計	IB科		HB科	計	IB科		計
	昼	夜	昼		夜	昼			夜		
千葉県	76	9	20	105	101	9	40	150	126	7	133
茨城県	11	0	2	13	6	1	5	12	2	0	2
東京都	4	1	0	5	0	0	0	0	3	0	3
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木県	3	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0
埼玉県	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
岩手県	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0
青森	0	0	0	0	3	0	0	3	1	0	1
山形県	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島県	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
石川県	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	98	11	22	131	113	11	45	169	132	9	141

※ IB科=インナービューティ科 HB科=美容師科

※ 2015年度よりIB科が独立、開校しているため在籍は1年生のみとなります

## 7. 教育

### 7-1. 退学率

学年	コース名	2013年度	2014年度	2015年度
1年生	I B科 昼間部	10.2%	8.9%	5.5%
	I B科 夜間部	18.2%	0%	33.3%
	美容師科	0%	20.0%	
	合計	9.2%	12.4%	
2年生	I B科 昼間部	3.9%	2.1%	
	I B科 夜間部	0%	0%	
	美容師科	0%	0%	
	合計	3.0%	1.7%	
全体		6.1%	8.0%	19.4%

※IB科=インナービューティ科 HB科=美容師科

※2015年度よりIB科が独立、開校しているため在籍は1年生のみとなります

## 7-2. 主要検定合格率

検定名	級	2013年度	2014年度	2015年度
AEA 認定 エステティシャン試験	ボディ	—	—	
	フェイシャル	—	—	
	筆記	—	—	
AEA 上級認定 エステティシャン試験	ボディ	100%	100%	
	フェイシャル	100%	100%	
	筆記	79%	95%	
日本エステティック センター試験	ボディ	98%	97%	99%
	フェイシャル	97%	97%	98%
	筆記	92%	97%	100%
ベーシック美容脱毛 エステティシャン試験	筆記	—	—	
	実技	—	—	
JMA メイクアップ技術検定試験	2級	70%	91%	
	3級	100%	95%	100%
アロマコディネーター ライセンス試験	資格	100%	96%	98%
ネイリスト技能検定	1級	33%	29%	
	2級	48%	21%	
	3級	63%	83%	100%
食生活アドバイザー	3級	—	—	—
JHRS 認定リフレクソロジー プロライセンス実技士	筆記	94%	90%	
	実技	88%	79%	
秘書技能検定	2級	—	—	—
	3級	—	—	—
パーソナルカラー検定	モジュール1	61%	90%	—
	モジュール2	26%	80%	—
パーソナルカラー検定	3級	—	—	87%
アシスタントブライダル コーディネーター試験	筆記	90%	—	

※2015年度より IB 科が独立、開校しているため在籍は1年生のみとなります

### 7-3. 卒業後の進路

#### インナービューティ科

	2013年度	2014年度	2015年度
卒業者	108	119	—
非就職希望者	5	0	—
就職希望者	103	119	—
内定者	102	119	—
内定率	99%	100%	—
主な就職先	TBCグループ(株)／(株)ソシエ・ワールド (株)不二ビューティ (たかの友梨) (株)スリムビューティハウス (株)スイートピア (株)日本ビューティコーポレーション(アップルマインド) (株)ピーユーサービス(ブリアント) (株)ザ・フォウルビ(ジェイエステティック) カネボウ化粧品(株)／(株)アルビオン 日本ロレアル(株)／(株)P&G メルパルク(株)／(株)マリーマール (株)丸三屋 (ブライダリウムミュー) (株)サマンサタバサ (株)リフレッシュ (株)ホスピタリティ ボディワークホールディング(株) (株)オリーブスパアカデミー (株)レッドネイルズ(ネイルランド) (株)ノンストレス (ネイルクイック) (株)ビクトリー／(株)ザ・キッド 他		

※2015年度より IB 科が独立、開校しているため在籍は1年生のみとなります

### 7-4. 教職員研修

今年度の研修方針

#### (1) 学園研修

自分自身のあり方やリーダーシップの発揮の仕方を見つめ直し、長期的・継続的に望む結果を出す。組織づくりの原則を考え、行動し、習慣化することを目的として「7つの習慣」について研修を実施しする。学園研修を通して、自分自身の人生を“長期的、継続的に好ましい状態”へと導くことを目指していく。

(2) 学校研修

職業教育する立場として、自らの行動・指導を改めて振り返り、仕事の魅力を伝えられるようにする。

2. 研修実績

月/日	目的*	タイトル	場 所	対 象	内 容
3/31	職員	新入教職員研修	学校	新入教職員	就業規則等
4/3	指導	新入教職員研修	学校	新入教職員	学生対応
4/29	職員	7つの習慣	千葉県 研修施設	全教職員	良い習慣・悪い習慣
6/5	職員	マイナンバー法で 企業が準備すべきこと	商工会議所	総務	特定個人情報 保護対策
7/8	職員	首都直下地震に備える	ビックサイ ト	総務	備蓄品・ 避難訓練
7/16	職員	マイナンバー 民間事業者の対応	商工会議所	総務	マイナンバーの 導入・目的・概要
8/6	職員	学校法人会計基礎講座	ツインビル	総務	財務・経理の 知識
8/18	職員	学校法人会計基準研修	教育会館	総務	会計基準の 見直し
8/18	指導	専門学校教員のための 就職指導講座	千葉県	就職	心構え 実践講座
8/18	職員	女性の働き方	学校	職員	キャリアデザイン
9/25	職員	職業人教育学会研究会	東京都	教務	職業実践専門課程
9/29	職員	マイナンバー制度実務 対応セミナー	千葉県	総務	実務への影響と対 応
9/30	職員	労務管理と マイナンバーセミナー	千葉県	総務	改正労働者派遣法 等
10/2	職員	文科省教育研修活動 補助事業 管理者研修	東京都	総務	学校法人 会計等
10/6	職員	コーチング理論	学校	職員	学生指導
10/20	職員	本質を見極める 固定観念	学校	職員	学生指導
11/7	職員	マネジメント能力	学校	リーダー	インバスケッ ト 演習

11/24	職員	習慣化プログラム 対人関係	学校	職員	学生指導
11/28	職員	マネジメント能力	学校	補佐・室長	インバスケッ ト演習
12/1	職員	目標設定の イメージトレーニング	学校	職員	学生指導
12/15	職員	目標設定の イメージトレーニング	学校	職員	キャリアデザイン
2/4 ・ 2/5	職員	実践ソリューション フェア	東京都	総務	IT 業界動向と知識
3/23	職員	マネジメント能力	学校	リーダー	フォローアップ
3/23	職員	マネジメント能力	学校	補佐・室長	フォローアップ
3/28	指導	メンタルヘルス研修	千葉県	教務	コミュニケーション 心理学

\* 専門・・・専攻分野に関する知識、技術、技能を修得・向上するため

指導・・・授業及び生徒に対する指導力等を修得・向上するため

職員・・・役職別研修や学校事務研修など学校組織で働くため

## 7-5. 教職員・講師

専任教員 9名

職員 6名

非常勤教員 28名

## 8. 学生支援

### 8-1. SAM活動及びクラブ活動

#### SAM規程

##### 1. 名称

この会は、中村学園の学生から選ばれたメンバーと学園から任命された職員により構成され、名称を School Activity Members といい、略してSAM(サム)と称する。

##### 2. 目的

中村学園の学生が、明るく元気で活力のある学生生活を送るために ITH・AIK・AIE・JHM・HPY 5校の学生と学園の教職員でSAMを結成し、教職員は学生の自主活動の促進を図り、学生は自主活動により各種イベントの企画運営、クラブ活動、ボランティア活動の活性化を図る。

##### 3. 基本活動目標

- (1) クラブ活動の活性化を図る。
- (2) ボランティア活動の推進を図る。
- (3) 学生の自主活動としての行事を策定し、運営実行を行えるよう企画立案を行う。

##### 4. 組織

- (1) 各クラブよりSAM担当メンバーを1名選出する。
- (2) 各学校のクラスよりSAM担当メンバーを2名選出する。
- (3) 会長1名、副会長・書記・会計の役員を11名おく。
- (4) 行事・広報・クラブ・ボランティアの各委員を編成し、年度活動計画を策定する。
- (5) 学園はSAM活動を支援するため教職員をSAM職として配属する。

##### 5. 任期

- (1) SAMメンバーの任期は、1年とする。
- (2) 期間は年度の5月下旬に組織され、翌年度の第一回SAM会議前日までとする。ただし2年生の学生は卒業で役割を終える。

##### 6. 運営

- (1) SAM会議は、原則として毎月1回行う。
- (2) 組織結成と役員を選出、年間活動計画案策定のため、5月に第一回SAM会議を行う。

- (3) 会長の職務を補佐するために、役員会議を随時開催する。
- (4) 各既存クラブや新規クラブ募集の支援を行い、クラブ確定後にクラブの年間予算の管理を行う。
- (5) SAM主催のボランティア活動を年数回行う。
- (6) クラブ活動やボランティア活動の情報を学生に伝達し、参加を促す。
- (7) SAM運営の行事は、7月までに企画案を立て学園の承認を持って実行する。

## 7. 予算

- (1) SAMの年間総予算は、クラブ運営予算 $\langle$ 年度の在籍学生数 $\times$ 1,500円 $\rangle$ 及びイベント活動予算 $\langle$ 年度の在籍学生数 $\times$ 1,500円 $\rangle$ で構成される。
- (2) クラブ活動予算は、年度当初に総額が決定され、各クラブの年間活動計画等を参考にして配分方法を立て、SAM職代表の承認を得る。
- (3) 予算の執行は会長が責任を持って行い、会計の執行手続きについてはSAM職リーダーの指示に従い会計が執り行なう。



クラブ名	2013年度				2014年度					2015年度				
	ITH	AIK	AIE	計	ITH	AIK	AIE	HPY	計	ITH	AIK	AIE JHM	HPY	計
バドミントン	39	32	0	71	36	25	2	0	63	34	4	2	8	48
サッカー(男女)	15	18	0	33	28	18	6	1	53	34	22	8	2	66
野球	12	10	1	23	20	4	1	0	25	24	4	1	1	30
バレーボール	41	21	11	73	15	21	1	0	37	17	11	13	3	44
男女バスケットボール	14	31	5	50	12	31	4	0	47	21	28	23	0	72
テニス	11	21	1	33	8	27	2	0	37	21	9	1	1	32
ボウリング	3	13	0	16	6	3	1	0	10	0	0	0	0	0
カケル研究	29	31	8	68	28	8	0	0	36	69	6	3	15	93
ふれあい	4	42	0	46	1	10	0	0	11	0	0	0	0	0
軽音楽	15	20	6	41	15	18	9	3	45	17	17	12	5	51
アウトドア	78	8	2	88	121	15	6	0	142	146	2	9	3	160
トックスポーツ	1	34	0	35	0	44	0	0	35	7	41	4	0	52
シネマ	0	50	2	52	1	54	0	0	55	10	35	0	2	47
チャリ	63	0	0	63	58	2	0	0	60	79	1	16	1	97
ダンス	19	22	12	53	17	10	8	3	38	39	3	20	0	62
美ューティ	0	0	32	32	1	0	29	0	32	3	0	26	0	29
アクア	0	16	0	16	0	16	0	0	16	2	10	0	0	12
クルージュパソ	53	0	2	55	66	4	0	0	70	126	0	0	0	126
パティシエ	18	36	4	58	6	9	4	0	19	24	5	2	0	31
フォト	4	12	0	16	0	14	0	0	14	6	19	0	0	25
テーマパーク	35	11	0	46	49	2	1	0	52	43	5	0	2	50
華道	3	17	0	20	2	12	0	0	14	0	0	0	0	0
卓球	10	0	0	10	17	3	0	0	20	11	4	1	1	17
Job & Joy	—	—	—	—	0	0	65	0	65	0	0	63	0	63
ダイエット	—	—	—	—	21	0	0	0	21	14	3	2	0	19
みんなのゴルフ	—	—	—	—	26	0	2	0	28	12	4	0	0	16
計	467	445	86	998	554	350	141	7	1052	759	233	206	63	1261

### クラブ名と員数

I T H : 国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

A I K : 専門学校ちば愛犬動物フラワー学園

A I E : アイ エステティック美容専門学校

J H M : ジェイ ヘアメイク専門学校

H P Y : ハッピースイーツ製菓専門学校

## 8-2. カウンセリング

- ・ 学生相談室を学園近隣に設置。
- ・ 毎週水曜日 15 時～19 時まで開設。
- ・ 学生は予約電話をカウンセラーの先生へかけて、相談日時を決定。
- ・ 学生への告知は4月のオリエンテーション時にカウンセラーの紹介と相談内容を説明。

## 9. 危機管理

視点：個人情報保護の保護、事故対策、防災対策、健康管理、苦情処理

項目	内容
15年度の実績	<p>1. 危機管理ミーティング 担当：小俣・植草・矢口・安田・櫻井正・鈴木史・大澤・小松崎・後藤・佐野・富澤・川島克・大田垣</p> <p>(1)内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①新たな合同避難訓練計画と実施</li><li>②非常・災害時備蓄品の変更</li><li>③緊急地震マニュアルの作成</li><li>④消防法に基づく対応の整備</li><li>⑤緊急連絡先の更新と確認</li></ul> <p>(2)日程</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①2015年6月19日(金)      ②2015年7月9日(木)      ③2015年8月21日(金)</li><li>④2015年9月18日(金)      ⑤2015年10月16日(金)      ⑥2015年11月12日(木)</li><li>⑦2015年12月4日(金)      ⑧2016年1月15日(金)      ⑨2016年2月19日(金)</li></ul> <p>2. 中村学園合同避難訓練の実施</p> <p>(1)実施日：事前訓練 2015年11月5日(木)～11月17日(火) 実践訓練 2015年11月18日(水) ※時間指定なし 事後訓練 2015年11月19日(木)～11月30日(月)</p> <p>(2)参加人数：1,345名</p> <p>(3)目的：命を守る行動選択訓練</p> <p>(4)手段：状況に合わせた自己の安全確保方法を身につける 学生と教職社員の連携による安否確認方法の確認 大規模震災時の教職社員の初期対応の確認 各校の災害対策室と災害対策本部の情報連絡方法の確認</p> <p>(5)反省点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・欠席者を把握するのが困難であった。</li><li>・複合施設であるN-TOWERの運用が困難であった。</li><li>・特別な留学生への事前指導が必要であった（特に安否確認名簿記入）</li><li>・各教室の音響調整スイッチの未確認。施設間を結ぶ通信機器の不良。</li><li>・事前の準備、説明不足。安否確認の適切なタイミングやオクレンジャーの有効活用を検討。危機管理メンバー間の協力。職員のみでの訓練も必要。</li></ul>

	<p>3. 学生指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザ、ノロウイルス予防啓蒙</li> <li>・健康診断実施&lt;2015年4月9日(木)&gt;</li> <li>・防災啓蒙活動</li> <li>・SNS利用における学生への指導</li> <li>・薬物の危険性における学生への指導</li> </ul> <p>4. 職員実施事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生登下校時の安全確保（勧誘団体等の対応）</li> <li>・個人情報の取扱いに関する注意喚起。</li> <li>・健康診断実施&lt;2015年4月9日(木)&gt;</li> <li>・サイバーパトロールの実施</li> </ul> <p>5. 施設・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設防犯カメラによる監視活動</li> <li>・消防点検</li> <li>・防災備蓄品の整備</li> <li>・救急医療セットの整備</li> <li>・AED定期点検と実践</li> <li>・夜間有人警備（合同校舎）</li> </ul>
<p>今後の取組</p>	<p>危機管理対策として学生・教職員・講師への一斉連絡システム(オクレンジャー)の登録と閲覧の徹底。 SNSへの書き込みへの注意喚起。</p>

## 10. 国際連携・地域貢献等

視点：国際連携や地域貢献、新規導入行事等の活動

地域貢献・行事

外部ボランティア

福祉施設を訪問し、利用者の希望に合わせたハンドマッサージ等を実施

## 1 1. 自己評価

### 1 1-1. 学校の教育目標

#### 【教育理念】

ホスピタリティ豊かな、世界に通用する技術をもった人材の育成

※注釈

ホスピタリティとは、お客様を「心からおもてなしする気持ち・心配り・思いやり」を意味します。

#### 【教育方針】

- ①美容関連の接客サービス業にふさわしいホスピタリティマインドを持った人材の育成
- ②美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成

#### 【教育システム】

「教室は仕事場である」

- 1 年前期→ 言われたことができる人になる。
- 1 年後期→ 言われなくてもできる人になる。
- 2 年前期→ 人から真似される人になる。
- 2 年後期→ 仕事を分け合える人になる。

### 1 1-2. 2015年度の重点目標

AIE が 9 期目、美容師科が 5 期目となる今年、美容師科が独立し AIE と JHM の 2 校体制となる。2 校体制は、学生にとって有効で明確な教育体制とするためである。インナービューティ科と美容師科とでは、教育カリキュラムや単位取得方法も違い、学生指導のあり方も違うことから 2 校に分離するが、両校は各業界が求める人材育成に取り組み、結果を出していかなければならない。

また、新しい教職員体制で取り組むため、協力して部内運営を行う意識が最も必要となる。

2 校はお互いに、目標を明確にして学校運営が出来る体制になるが、事業部運営においては従来以上に、互いの運営手法を理解し助け合う気持ちが大事である。

変革を恐れることなく我々教職員は、2 校協力・協調の意思を持ち、両校が目標達成出来るように、力を併せて 2 校運営を推進していく。これが今年の AIE 事業本部の課題で有り、また我々の責務であろう。心して取り組みたい。

#### 【目標】

募 集：入学者：145 名  
中 退 率：8%未満（1 年生）  
授業満足度：75%以上（全体）  
入学満足度：80%以上（全体）  
卒業生就職率：100%